

ティーチング・ポートフォリオ

日本国際学園大学 経営情報学部 ビジネスデザイン学科

野田 美波子

教育の責任

科目名	対象 学年	受講 人数*	授業 形態	必修 選択	科目区分 (カリキュラムにおける位置 づけ)
イラストレーション 1	2-4	14	演習	選択	情報・デザイン
イラストレーション 2	2-4	10	演習	選択	情報・デザイン
映像制作・編集 A	2-4	18	演習	選択	情報・デザイン
映像制作・編集 B	2-4	14	演習	選択	情報・デザイン
表象文化論	2-4	16	講義	選択	人文科学
アニメと映像 A	2-4	22	演習	選択	情報・デザイン
アニメと映像 B	2-4	4	演習	選択	情報・デザイン
アニメーション基礎	2-4	14	演習	選択	情報・デザイン
映像と文化	2-4	31	講義	選択	人文科学
卒業研究	4	0	演習	必修	情報・デザイン
演習ゼミ入門	2	0	演習	選択	情報・デザイン
演習ゼミ1	3-4	7	演習	必修	情報・デザイン
演習ゼミ2	4	17	演習	必修	情報・デザイン
キャラクターデザイン	2-4	8	演習	選択	情報・デザイン
アニメーション史	2-4	40	講義	選択	情報・デザイン

教育の理念

学生がアニメーション、映像等のデジタルコンテンツ制作における表現手法を研究し、知識、技術を習得することを目標に授業を行なっている。そして、コンテンツ制作を通してディレクション能力、プロデュース能力、コミュニケーション能力、問題解決能力を身につける事によって、幅広く社会に役立つ人材を育成し地域、社会貢献を行うことを教育理念としている。

教育の方法

演習授業の映像編集・制作1・2、アニメーション基礎、アニメと映像A・Bでは、映像表現に関する基礎的な知識を学び、専門ゼミ1・2ではこれらの授業で身につけた基礎を応用してオリジナルコンテンツを制作する。

講義授業では、単なる映像文化の歴史や文化論ではなく、実際に映像コンテンツ制作を行う上での考え方に役立つ様な授業を行う様心がけている。

ゼミでは学生一人一人が作家としてコンテンツを制作し、地域に一般公開し、評価してもらうことを目標として制作を行う。

課外授業では、地域貢献や社会貢献のためにコンテンツ制作を行い、学生自身が社会の一員であるという自覚を形成する。

教育の成果 および 今後の目標

課外授業で行っている社会貢献活動についての成果。

- ・2016年わがまちCMコンテストで 学生作品「パンのまちつくば」が優秀賞。
- ・2017年ショートムービーコンテストつくっぺで学生作品「シュウカツセイ」が観客賞。
- ・2018年いばらき県結婚子育てポジティブ動画コンテストで学生作品「赤ちゃんの魔法」がグランプリ。
- ・2018年備中備前デニム動画コンテストで学生作品「デニムはジーンズだけじゃない」が優秀賞。
- ・2020年北関東ビデオコンテストで学生作品「Mito Natto Food Journey」が入選。

また、2016年から現在まで NPO 法人日本イラク医療支援ネットワークのプロモーション動画、マスクingtape、ポスターカード、トートバッグ等のグッズデザインやダンスパフォーマンス制作、プロジェクトマップ制作、ワークショップを通して学生は国際人道支援にも関わっている。

この様な実績、成果を後ろ盾にし、映像業界やコンテンツ業界に就職する学生が着実に増えてきていると実感している。今後は、業界の一線で活躍できる様な人材を育成できる様に一層努力していきたい。

参考資料

パンのまちつくば

<https://www.youtube.com/watch?v=pKrxlJc-E8I>

シュウカツセイ

<https://www.youtube.com/watch?v=-1JPrJhH5oU>

赤ちゃんの魔法

<https://www.youtube.com/watch?v=dTn3kLfoUh4>

デニムはジーンズだけじゃない

<https://www.youtube.com/watch?v=h7ZjP9fO8gl>

Mito Natto Food Journey

<https://www.youtube.com/watch?v=SFVVCVXPioWI>

朝日新聞 2018年1月16日記事

2018 1/16 (火)

築波学院大の学生3人が、チョコレートの代金で病気に苦しむ中東の子どもを支援する活動をPRする動画をつくった。パレンタインデーが近づくと来月3日、学生たちはつくば市内で動画を上映し、募金活動を行う。

「中東の子ども救うチョコ」動画に

募金を主催するのは医師の鎌田實さんが代表を務める団体「JIM-NEE」(ジムネット)。有志に1箱550円の仕入りチョコレートを買ってもらう、米軍の劣化ウラン弾の影響が疑われる小児がんで苦しむイランの子どもや、シリアの難民支援に役立てる。理念に共感した野田美波子講師(39)が歌の制作を別の教員に依頼。若松音於さん(20)、菊池美加さん(20)、関根彩さん(19)の3年生3人が歌唱とアニメーションを担当した。

動画はイラクやシリアの子どもたちが描いた絵を題材にしており、点滴を打たれた子どもが登場するが、背景の曲は何度も「ハッピー、ハッピー」

現地の子の絵を題材

「という歌詞を何度も繰り返す。「まず、楽しんで関心を持ってもらう」ことが必要だ」と野田講師は語る。

絵を描いた子どもたちの中には「私は死にます。でも幸せです。私の絵を皆に見てもらう、多くのイランの子どもたちが助かるのを願っています」と言葉を残して、世を去った女の子もいる。若松さんは「自分で同じ年がいなない、なんて強いのだろう」と感銘を受けた。

募金は2月3日午前11時から、つくばは都市交通センター。問い合わせは筑波学院大(029-8558-4881)。

動画 <https://youtube/v/3ITX7m6sg> シムネットのホームページから閲覧できる。(鹿野幹男)

右から野田美波子講師、若松音於さん、菊池美加さん、関根彩さん
アニメーションに登場する画像は筑波学院大提供

筑波学院大生が制作、募金も